

広報 おおむた
10/1号別冊
2021

80th

祝！
大牟田市動物園
80周年



anniversary

あゆみ

昭和 16 年 10 月 「延命動物園」として開園

昭和 31 年 4 月 大牟田産業科学大博覧会の開催に合わせて
整備され、名称も「大牟田市動物園」へ

平成 4 年 4 月 リニューアル。敷地面積が 2 倍ほど拡大し、
現在のキリン舎付近の整備が進む

平成 18 年 4 月 市営から指定管理者制度へ

平成 25 年 9 月 2 代目ゾウのハナコ死亡

平成 27 年 3 月 園内に動物病院が完成

平成 28 年 3 月 雌キリン「プリン」来園

// 12 月 NPO 法人 ZOO ネットワーク主催「エンリッ
ッチメント大賞 2016」受賞



初代ゾウのハナコ（昭和30年代）

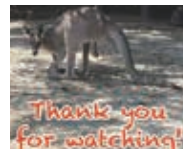


動物園にやって来た時の
プリン（平成28年）



充実の SNS をチェック！

魅力的で楽しい画像や映像が
盛りだくさん！！



●開園時間

9：30～17：00

（12月～2月の冬季は16：30まで）

※閉園時間の1時間前までに
入園してください

●休園日

毎月第2・第4日曜日

（年末年始 12月29日～1月1日）

●入園料

区分	入園料	
	個人	団体（30人以上）
小人	100円	1人につき 80円
大人	500円	1人につき 400円

小人…小学生および中学生

大人…小人以外の15歳以上の者

80周年に感謝して

次の期間、高校生以下および
65歳以上の人の入園料無料！

- ・10月1日（金）～3日（日）
- ・11月6日（土）・7日（日）

園長よりごあいさつ

～ これからも、動物福祉を考えるきっかけとなる動物園に ～



大牟田市動物園 園長
椎原 春一さん

園長に就任した15年前に、海外では進められていた動物福祉の考えを取り入れました。飼育されていても動物たちが必要な行動をできるように、環境エンリッチメントに取り組み、同時に裏方だった飼育員が表に出て、お客さまに自分たちの取り組みが伝わるようにガイドを始めました。

そんな中、ゾウのハナコが病気で亡くなり、健康管理の大切さを痛感し、麻酔をかけずに検査などを行えるように、ハズバンダリートレーニングも始めました。猛獣系のトレーニングでは、国内初の事例となり、他の動物園にも広がりを見せています。

80年の歴史のなかで、動物を取り巻く環境も接し方もずいぶん変わったと思います。お客さまには、動物がどうすれば幸せになれるかを考えることをきっかけとして、自分自身の幸せも考えてもらえる動物園であり続けたいです。

動物の幸せを考える わたしたちの動物園



市民の皆さまに 心から感謝



大牟田市動物園 企画広報担当
国際動物園教育者協会 理事
富澤 奏子さん

「動物福祉を伝える動物園」というコンセプトのもと、動物園内ではさまざまな取り組みを行っています。その中で私の仕事は、その背景や目的、関わる職員の想いを発信し、広く伝えることです。仕事をする上では、動物学の専門家としての視点を取り入れつつ、お客さまに動物福祉に対する取り組みへの理解を深めていただき、動物たちの魅力を伝えることのできる発信方法を日々模索しています。

また、国内外の関係機関と連携をし、世界中のさまざまな場所で行われている保全活動や最新の研究とお客さまが繋がるように、当園が中継点となる取り組みも行っています。

動物福祉向上のための取り組みは、当園だけで行っているわけではありません。市民の方から、キリンのごはんの枝を頂いたり、木々を育てるためのプランターを頂く他、家具職人さんからはおがくずを、神社の方からはしめ縄作りであまった藁を、消防署さんからは消防ホースを頂くなど、地域の皆さまに多大なご協力をいただき、当園の動物福祉向上のための取り組みを実施することができています。

改めまして、市民の皆さまに心よりお礼を申し上げ、これからも皆さまの動物園として、一步一步努力を重ねてまいります。

こんなことに取り組んでいます

🐾 ハズバンドリートレーニング

動物の心身の健康管理など飼育上必要な行動を動物たちに協力してもらいながら行うトレーニングのことをハズバンドリートレーニングといいます。このトレーニングのおかげで、定期的な検査による病気の早期発見や効率的な治療を行うことが可能になりました。大牟田市動物園では、多くの動物において実施しており、ライオンやトラ、マンドリル、エミューなどの動物において無麻酔採血を国内で初めて成功させるなどの成果が、全国から注目されています。



採血は、飼育員と獣医師の息の合ったトレーニングで行います



穴をあけたガチャガチャのカプセルに中に固形飼料を入れて、モルモットがカプセルを揺らすことで飼料が穴から落ちるしくみです。時間をかけて食べてもらうことで、退屈な時間を少しでも短くすることを目的としています

樹上で生活をするレッサーパンダは、鋭い爪や尾を使って木を登り、下るときは頭から下ります。その行動をボルダリングを用いて引き出しています



肉を探し、木に登ることで爪が研がれたり、運動不足の解消になります！

🐾 環境エンリッチメント

動物たちが心身ともによりよく生活できるよう環境を豊かにする（＝エンリッチメント）ための工夫のことです。野生下で行っている多様な行動をすることができ環境づくりを実施する他、食べ物の配置を日々変えるなど、さまざまな工夫をしています。

大牟田市動物園の動物たちを紹介します



ブリン
(キリン)



あさひ
(ライオン)



ムーちゃん
(ゴマフアザラシ)



フジ
(リスザル)

動物たちに会いに
来て下さいね!



飼育員 増澤さん



レイ
(レッサーパンダ)



リラ
(ライオン)



なすび
(モルモット)



クリ
(カビバラ)



ヒノキ
(カビバラ)



ツッキー
(ツキノワグマ)

飼育動物種数
約50種250点

種としてではなく、個としてそれぞれの動物を見つめ、日々できる限りの努力を重ねています。



飼育員 古賀さん

動物園を応援しませんか

動物園サポーター

魅力ある動物園づくりのために使われます。

- ・個人 大人／1口 2,000 円
中学生以下／〃 1,000 円
- ・団体サポーター (団体・企業等)
1口 10,000 円

特典

- ・個人サポーターには、入園料
無料年間パスポートを発行
- ・サポーター限定特別イベント
(年2回程度開催)へ招待 などなど

動物園応援募金

動物園入口にある募金箱や現金書留などでご寄付をいただき、その時々プロジェクトに使われます。



感謝!

2018 年

レッサーパンダ舎の寝室・巣箱にカメラ&モニターを設置することができました!

2020 年

ポータブルエコーを購入し、動物の健康管理のためのエコー検査が容易に!

チェック!

屠体プレゼント募金

農作物への被害を減らすため、イノシシやシカ等が駆除され、その多くは廃棄されています。動物の命を少しでも無駄にしないために、当園では肉食動物への屠体プレゼントを行っています。衛生処理がなされた屠体を使用しています。



皮が付いたままのイノシシの肉を食べるアムールヒョウのボン

募金などの詳しい内容は大牟田市動物園のホームページへ! 動物たちのために、どのように使われているかも紹介しています♪



KEMONOTE (ケモノート) を知っていますか?

「動物たちもスタッフの皆さんも素敵な大牟田市動物園を応援します」。そう話す、写真家の中村紀世志さんをはじめとした有志の皆さんが、同園を応援するために自費制作しているフリーペーパーです。手作り感と動物愛にあふれた作りはファンも多く、大人気の冊子です。



これからも
応援します!



表紙のモルモットの写真も
中村さんの作品です!

動物園正門で配布中! スタッフに声をかけてください。
(現在7号。バックナンバーはありません)

中村 紀世志さん